

別大マラソン ウォーキング



よ う こ そ



(上右) 去年全線開通した西大分～東別府間のシーサイド歩道は道幅も広く、青空に由布岳・鶴見岳・扇山の稜線がくっきり映えて、別府湾の向こうに湯けむり立ち上る別府の町が美しく、とても素敵でした。

(上左) 仏旗を先頭に歩きました(うみたまご付近)

(左) 本願寺別府別院本堂前で(2月3日)

第 27 号
浄土真宗本願寺派
円光寺
〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL.097-527-6916
FAX.097-527-6949

お念仏の道をご一緒しましょう

二月三日(日)晴天無風の絶好のコンディションのもと別府大分マラソンが開かれ、川内優輝選手が大会新記録で見事優勝しました。その同じ日、同じマラソンコースに沿って円光寺から同行十二人が歩いて本願寺別府別院にお参りしました。

昭和27年に始まった別大マラソンは、当初は別府をスタートゴールに、近くの鶴崎や地元の三佐を折り返すコースで行われ、応援に行きました。当時の世界新記録を出した寺沢徹が、君原健二が宗兄弟が走りました。大変なじみの深い大会です。朝八時に円光寺を出発、快調な足取りで別院までの二十キロを四時間かけて歩きました。復路は疲労と足痛でペースがさがらず、足を前へ前へと運ぶのが精いっぱいでしたが、何とか四人が往復完歩しました。途中から参加の皆さん合わせて二十九〇キロを歩いたことになりました。それぞれ自分のペースですが、皆さんが一緒に、おかげさまで最後まで歩き通すことができました。

仏旗を掲げて歩きました。一昨年の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に、歩いてご本山・京都西本願寺にお参りした時に携帯した仏旗です。

「この道を往く、あなたが一緒に ナモアミダブツ」(山門掲示板のことば)阿弥陀さまが一緒に、おかげさまでお念仏の道を歩ませていただきます。阿弥陀さまは私が生まれ行く処をお浄土と決めてくださいました。お念仏申して皆さんと一緒に往かせていただく俱会一処の世界です。

春です。あたたかい陽光をいっぱい浴びてウォーキングしませんか。「いっしょにいこうえ」と声かけさせていただきます。阿弥陀さまの慈光に照らされ護られてお念仏の道をご一緒しましょう。

私たちでらともです

ようこそ円成会にいらっしやい

七十歳になったら円成会

七十歳以上の全てのご門徒衆を対象に、毎月一日に円成会を開いています。男女を問わず、都合のよい時にお参りしてください。但し前日までに必ず参加申し込みをお願いします。

食事会をします

朝が明るい時分は朝事(午前六時半から)のご縁にあわせて、冬場の寒くて暗い時分は午前十一時から始めます。毎月の「円光寺通信」でその都度ご確認ください。勤行・法話聴聞の後、手作りの食事を皆さん一緒にい



食事会のようす。2月はだんご汁、3月はちらし寿しをいただきました (2月1日)



女子は台所でにぎやかに食事の準備をします (3月1日)

ただきます。おいしい食事に、自然と会話が弾む、楽しいひとときです。少し早めに集まっていただき、食事の準備や境内の清掃作業をお手伝いください。

誕生会をします

今年に入つて、その月生まれの方の誕生会を始めました。この世にいのち恵まれて、お念仏のみ教えに遇わせていただいた喜びを、皆さんと一緒に阿弥陀さまにお礼申させていただきます。きれいなお花と記念写真のプレゼントがあります。お念仏申していよいよすてきな歳を重ねてまいります。



男子は黙々と境内の清掃をします (3月1日)

ともに浄土への人生を

円光寺のご縁をいただく私たちは、お念仏の道を共に歩ませています。お念仏の道は、浄土に生まれさせていただけます。死んだら終いの関係ではありません。お念仏申すなかにこの世のお別れができ、お浄土の仏となつて再び会うことができます。念仏の仲間、とらともです。



2月の誕生会記念写真 (2月1日) みんなでおめでとーそして、ありがとう

世々生々

東西冷戦の象徴だったベルリンの壁が破壊され、ソ連はじめ東欧共産圏諸国の政治体制が崩壊した一九九〇年代、ボーダレス(国境・境界がない)

社会の到来と言われた。爾来二十年、交通通信手段の飛躍的な発達で、国境を越えて人やモノ、情報が一気に動くようになり国際化が加速した。果たして本当にボーダレスとなったのか。実は本来がボーダレスであり、地球は自分たちの所有物と言わ

んばかりに、人間が勝手に境界線を引き国家をつくり、取った取られたという歴史を繰り返して今に至っているのである。◆その地球に宇宙から隕石が降つて来て大変な被害がでた。全く予見できなかった宇宙からの来襲に、世界中に衝撃が走った。私たちは広大な宇宙の中の小さな惑星に身を寄せる地球生命共同体だと思ふ。◆どの国の政治も利益を守ることに必死だ。自国だけの利益を求めては必ず行き詰まり、その影響は国民だけでなく地球全体にまで及ぶ。◆この世の中で関係ないものは何一つないとは仏さまの教えである。大気汚染が進む中国からPM2.5が日本に飛来する。まさにボーダレスの社会を生きている。

お朝事「法話」より

巨人・大鵬・卵焼き

昭和の大横綱、大相撲の大鵬幸喜さんが亡くなりました。昭和三十年〜四十年代の高度経済成長期に「巨人・大鵬・卵焼き」と言われ、子どもから大人まで日本中が熱狂した時代のヒーローでした。大好きな巨人が、大鵬がいつものように勝って、おいしい卵焼きを食べて、幸せいっぱい

の生活の象徴でした。いつも元気に勝ち続けた大鵬さんでしたが、現役引退間もなく脳梗塞で半身不随になりました。土俵上の雄姿からは想像できない姿に、どんな人も病むことを、そして老い、必ず命を終えていくことを教えてくれました。常に右肩上がり、勝負でいえば勝ち続けるということはありません。負けるものがいて勝つものがある。勝負には必ず相手がいるということです。柏戸がいました。柏戸あつての大鵬であり、大鵬あつての柏戸でした。野球でいえば阪神あつての巨人であり、巨人あつての阪神です。私たちの生活も人と人との関係の中で、お互いに持ちつ持たれつ、支え合って生きています。



ある日のくあんのん法話会 > (3月6日) 初めての人もどうぞ一緒にしましょう

誰が偉いでもないお互いので。とところがどこまでも自分中心に生きる私は、うまく行っている時は、自分一人でも何でもできると思い込み欲の心を膨らませ、ちよつとでも自分に不都合なことが起こると他をも責める怒りの心も持ち合わせています。真理にくらく迷い続ける愚かな私を阿弥陀さまは「悲しいね」と見抜かれて、必ず救うとお立ちになり、へまかせよ、救うのにお名号となつて私のところに来てくださっています。

阿弥陀さまを真実の親さまといただきます。この私を握め取つて決して捨てないとおはたらきの頼もしい親さまです。私の心に至り届き、私の口からお念仏

ご案内

◆春彼岸会

3月19日(火) 11:00~14:00
同 19:30~21:00
3月20日(水) 13:30~15:00

◆花まつりの会

4月 7日(日) 10:00~12:00
(白象パレード、新1年生を祝う会)

◆宗祖降誕会

5月19日(日) 10:00~15:00
(初参式、バザー、もちまき)

◆常例法座

6月14日(金) 10:00~11:30

“月に一度は
お寺参りしましょう”

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。

お朝事にお参りしましょう
▲毎朝6時30分〜7時▼

申させてください。「私がいけるよ。大丈夫だよ」のお喚び声です。いつでもどこでも一緒に阿弥陀さまに護られ支えられ励まされて、生かされている私たちでした。人生は苦なりといわれ、思い通りにならない私の人生の歩みですが、あなたがいるから生きて往ける。勝った者も負けた者も、富める者も貧しき者も、お互いに老いていきます、病んでいきます、そして命終えていきますけれども、お念仏申して私たちがこの人間界を生き抜いて阿弥陀さまのお浄土に必ず生まれ往くことができます。(1月21日)

御礼のこと

平成20年7月より伝道掲示板に法語を書いていた岸田孝義さん(裏町)に代って、今年の2月から橋本政徳さん(板屋町)にお願いすることになりました。岸田さんには4年7カ月の間ご奉仕いただきまして誠に有り難うございました。



町角伝道掲示板
(3月のことば 大村、橋本利男・玲子ご夫妻)

今年も報恩講さまの

ご縁に遇わせていただきました

11月26日(月)から28日(水)まで御正忌報恩講をお勤めし宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲びました。11月に入り大掃除からお菓子(落雁)作り、おみがき、お飾りつきと、ご門徒衆にお手伝いとあたたかいご懇念をおはこびい

ただき、本堂におかげさまで。26日の夜は子ども報恩講をお勤めしました。子ども会を修了した中学生が手伝ってくれました。本堂に有難いことです。有縁の皆さんの思いを寄せてお勤めさせていただける。毎年このことです。いつも新鮮で懐かしく嬉しい楽しいご縁です。

お寺の報恩講に続いて、ご門徒のお家のお内仏で報恩講のお勤めをし、夜は十一カ所の地域でご法座を開きました。お正文偈の勤行、ご法話聴聞、御文章拝読の後、一緒にお茶をいただきます。今年のご夫婦でお参りされる方が目立ちました。連日厳しい寒さでしたが、心あたたまるご縁になりました。

地 域 法 座

親鸞聖人祥月御命日法座



尼子玄章ご講師(都城市正定寺住職)のお取り次ぎに、ほれほれと仏徳讃嘆お聴聞させていただきました (11月27日)



子ども報恩講のようす (11月26日)
 (右)本堂いっぱい子どもたちの元気な声が響き渡りました
 (左)人形劇「おしょうさんとやまんば」を演じた中学生スタッフの皆さん



板屋町・工藤英次さん宅での門徒報恩講地域法座のようす(12月13日)
 16人(内3組の夫婦)の同行がお参りされ、住職を囲んでお茶会。手作りのものを持ち寄って、テーブルいっぱいのごちそうです

あ と が き

東日本大震災から二年が経つ。大分市では全市一斉の防災訓練が行われた。防災用品や避難場所の確認など、地域全体で災害に備える大事な取り組みだ。日曜日で私は朝から法事に出かけ、わが家から坊守が一人参加した。被災地では三回忌の法要が営まれる。大切な人との突然の別れ、わが家を失い今も多くの方が避難生活を送り、あの日から時間が止まったままだという。法事は故人を偲ぶご縁、お話を、忘れないということ。被災された皆さんの命がけの教訓を決して忘れてはいけない。



親鸞聖人751回忌のご縁です。お勤めの後、せんざいのお接待をいただきました(1月16日)